

# マルセイニュース 2月号

発行日 2019/2/22  
株式会社 マルセイ  
浦河町東町うしお1丁目  
〒057-0005 TEL.0146-22-5123

この冬は  
めちゃくちゃ凍れましたねー！



2月16日(金)朝 浦河港

浦河港で、何日も消えずに姿を残していた『蓮氷』の様子です。こんなに厚いのを見たのは何年ぶりでしょうか。それだけ氷点下の寒い日が続いたということですね。水道の凍結で困った方が多かったのではありませんか？会社もわが家も水道凍結でおわらわの2月でしたが、春よ来〜い、早く来〜い♪そんな気分ですね。

マックス

# 武藤拓也です。マルセイに入社しました。 どうぞ、よろしくお願ひします！



後継者候補が現れたことを、まずはうれしく思っています。これからますます人口減少が進んでいくこの町で、商業を営むことはまったくもって大変なことです。それでも、工夫と努力次第では事業を成長させていけるところが商売の面白いところです。わたしもまだまだ頑張っ、若者たちの感性や意見を取り入れてマルセイを成長させていきます。武藤くんも加わり、恭平くん、圭佑くんたち当社の若者たちみんなでどんどん新しいことを勉強していきましょう。楽しみです！（社長）

マルセイニュースをご覧のみなさんこんにちは。一月に入社した武藤拓也です。紙面には度々登場してきましたが、この度晴れて正式にチームマルセイのメンバーになりました。

いずれは社長の跡を継いで、マルセイを一層お客様に喜ばれ、地域から必要とされる会社にしていきたいと考えています。とはいえ、まだ何の資格も経験もありません。まずは一兵卒として少しずつ仕事を覚えていきますので、今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

早速現場に出ると久しぶりの肉体労働に筋肉痛ですが、これも筋トレの機会ととらえて先輩社員のご指導を頂きながら筋力増強強化月間です。ところがふと目を上げるとテーブルにはどっさりお菓子が積まれているので、食べ過ぎないように気を付けます。

札幌から浦河に来て、もうすぐ早6年を迎えます。すでに色々な立場でお世話になっていますが、これからはあらためて「マルセイの武藤」としてよろしくお願ひします！

武藤拓也

## また一人、一緒に働いた仲間が逝ってしまいました… 寺さん、ありがとうございました



1月7日(月)、寺澤繁さんが亡くなりました。享年67歳、膵臓癌でした。昨年の春から体調を崩し、夏以降は生まれ故郷の留萌市と旭川の病院でご兄弟に見守られながら入院を繰り返しながら治療に当たっていました。「俺が癌になるなんてなあ…」と、秋になって癌が発覚。最後まで自分の生き方を貫き通して、私たちの大切な仲間の寺さんは逝ってしまいました。さみしいです。寺さん、たくさんたくさん、ありがとうございました。

寺澤さんとは20年以上の付き合いでした。なにか悩み事があると、いつもわたしの相談相手になってくれました。社長になつて四苦八苦していたころも、よく相談に乗ってもらいました。寺澤さんはいつも、こんなふうに話してくれました。

「社長は今、自分がつくった目標＝理念と実際の自分や会社との違いに悩んでいるかもしれないが、現実と大きな差があるからこそ目標なんだからな。自分が本望だと思ふ目標に向かって毎日這いつくばっていけばそれでいいんだ。」

「そのとき大事なのは、他人と比べないことだぞ。社長は社長の能力に応じてしか前に進めねえ。あー、誰それはずっと遠くに行つたとか、優秀な奴と比較しないことだ。這いつくばっていけば、社長には社長の分に応じた成果がでる。」

「もうひとつ大事なことは、実際よりも上手く行っているように見せかけないことだ。今の世の中、見せかけが流行だけど、ようするにそれは嘘をつくことだからな。嘘がいけないのは何も立派な人間になれつてことじゃねえ。嘘をつくと必ずつじつまが合わなくなるからだ。するとまた嘘をついて、もつとつじつまが合わなくなる。そうすると、他人が怖くなり信じられなくなる。気を張って生きなきゃならなくなる。社長みたいな神経の細い人には向いてない生き方だぞ(笑)」

「こうやって書いていくといくらでも寺澤さんの言葉が思い出され、どこまでも書いていくことが出来ます。涙が出ます。寺澤さんに言われたとおり、自分の成果を受け入れて、出来るだけ正直に、這いつくばつてこれからも自分の目標に向かっていきます。さよなら、寺さん。」

小山直





# 一軒家の片付けをお任せいただきました！

厳寒期でしたが、家まるごと1軒の片付け仕事をお受けしました。灯油配送に追われる時期と重なったこともありさすがに人手の確保が難しかったものの、お客様には日数に余裕をみていただいてみんなで取り組みました。もちろん新人の武藤も出動！長身の新しい戦力が加わった“マルセイクリーン事業部”です。（笑）

**安心して  
ご相談ください！**

お客様が自分たちで片付けるには、大変な量の家財道具の処分が必要な物件でした。産業廃棄物になるものもあり、分別作業を含めてのご依頼でしたので、その分の人手も必要でした。ちょうど氷点下の厳しい寒さが続いた時期と重なり、なかなかタフな今年初めての仕事でした。でも、赤いジャンパー姿のチームマルセイは頑張りましたよ（笑）

**「頼んでよかった」と  
喜ばれています**

気になつていても、自分だけではなかなか解決できずにいる片付け仕事はありませんか？

暮らしの中で人手や力が足りなくて解決できずにいる困りごとなどは、どうぞマルセイにご相談ください。当社をご利用いただいたお客様からは、「ひとりで頑張ろうとしないで、もっと早くに頼むと良かった。助かりました！」というご感想をいただくことが多いです。今年も、このクリーン事業を通してお客様の役に立ちたいと思います。



## ガスコンロのお取替えも ご相談ください！

**安心・安全な  
ガスコンロを！**



<p>なるほろはつとく 安心機能① 安全機能② 消火機能③ コンロ口を閉じてもセンサーが感知し、自動的に消火します。</p>	<p>なるほろはつとく 安心機能① 安全機能② 防炎機能③ センサーが鍋底の温度を感知し20°Cになると自動的に消火します。</p>
--------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------



**ガスコンロ**は、約10年が取り換え時期の目安と言われています。10年以上使ったガスコンロは内部の部品が劣化していることがあり、部品を交換したり修理しても、また別の故障がおきる可能性があるからです。

電池を交換しても「火がつきにくい」「火が安定しない」などの症状があるコンロは、取り換えの時期かもしれません。2008年以前に製造されたガスコンロには安全センサーがついていないコンロバーナーがあります。安全のためにも、センサーがついていない製品を使っているお客様には、これを機会に交換をおすすめいたします。ご相談ください。

## シバましたね。〆〆 凍結による修理に追われました

いや、凍れました！こんなに長期間、氷点下の真冬が続いたのもめずらしかつたですね。風呂釜やボイラー、温水器に水道など色々凍結や破裂が発生！お客様からの修理のご依頼が相次ぎ出動しましたよ。

当社も例外ではありませんでした。連日、ドライヤーを使って水道管を解冻。でも一番大変だったのは古くて広すぎる社長の自宅でしたよ。あくあく。早く春が来て欲しいです。





# おめでとうございます!

## 2019年 新春マルセイお年玉クロスワードパズル 「お年玉灯油プレゼント！」 灯油100ℓ当選2名様発表!



おめでとうございます! 抽選の結果、ご覧の2名の方が当選でした。なんとびっくり! 葛西さんのマルセイでの当選は今回で何度目でしょうか。早速お知らせをして大変喜んでいただきましたが、こういう方って本当にいますよね～。皆さんやっぱり、まずは応募からですよ～^^

マ	ツ		オ	オ	サ	カ	
ン		ツ	ウ		メ		ダ
ビ	ド	ウ	ダ	ニ			ニ
キ		カ	ン	ソ	ウ	キ	
	ネ			ウ		ヒ	ト
ホ	ン	ジ	ヨ		ワ	ラ	ウ
	ゴ	ー	ン			リ	カ
ソ	ウ	コ		サ	イ	カ	イ



吉田 康子様

「本当ですか?ありがとうございます。とてもうれしいです。」「先日もお米が当たったばかりなんですけど、こんなことって初めてです。と吉田さん。きっと良い年になりますよ^^



葛西 陸月くん

「うれしいです!」と陸月くん。マルセイのプレゼント企画に最初に当選した頃はまだ赤ちゃんでしたね。大きくなりましたね～。おめでとうございます!

### こたえ

当社の恭平くんと圭佑くんは…

キ ダ キ ヨ ウ ダ イ

今年のクロスワードパズルも楽しんでいただけましたか? 「灯油が当たるのは嬉しいですよ～」と、毎年ご応募くださる方も多い「お年玉灯油プレゼント」の企画です。今年は、はがき46名、メール13名の合わせて59名(不正解2名含む)の方からご応募をいただきました。ありがとうございました!



## 故上松敏氏 ふるさと択捉島懐古展

えとろふとう

●日程: 2月1日(金)~2月28日(木)  
●場所: 浦河町図書館

故・上松敏さんの絵画展が図書館で開催されています。同級生のお父さんでもあり、マルセイとは本当に長いお付き合いをしていただいたお客様でした。「おうっ、バナナ食べて行かないか?」と、最後にお会いした時の声が今も聞こえてきそうです。

おじさんが絵を描いていたのは知っていましたが、こんなにたくさんのお絵を描いていたなんてびっくり。

そして、何とも魅力のある絵に、またまたびっくりしました。ずっと心にあつたふるさと択捉島の静かで美しい風景が描かれています。でも、よく見ると戦車や軍服姿の兵隊さんも描かれていました。生前に見せていただいて、おじさんから色々とお話をお聞きしたかったと悔やまれました。2月末まで展示されています。どうぞ、ご覧ください。

マックス





## 浦河の昭和初期のおはなしを いろいろ聞いて楽しかった～！

## 浦河の昔話を聴こう会

- 日時: 1月27日(日) 14:00～16:00
- 場所: 浦河町図書館地下1階 くつろぎコーナー
- 主催: 地歴さいこう会

◆昭和初期の浦河の写真など情報提供をお願いしています！ →

### カフェが大繁盛！

1月27日、20数名の参加者の方々と共に、小林勇雄さんをはじめ大正生まれの大先輩から、港とまちのお話を楽しくお聴きしました。

昭和5年(約90年前)に浦河港の第一期防波堤が完成すると漁船が年々倍増する勢いで来航していた浜町界隈は、料亭に加えて当時流行のカフェが大繁盛。『ぼっちゃん』という名のカフェがあったよな? 『いや、『嬢ちゃん』というのもあった!』など参加者からも色々楽しい話飛び出し、昭和の浦河の様子がとても身近に感じられました。



開港で栄えた頃の浦河は、仕事の場を求めて各地から移住してくる人々で活気に満ち、北海道郡部でも経済的に屈指の町だったのでは?と思えました。昨年で百周年を迎えた大黒座は無声映画が大盛況。花形職業だったチョウネクタイ姿の活弁士が活躍する様子をワクワクしながら聞き入りました。とりわけ楽しかったのが、当時はいたずら盛りの子も多かった小林少年が親の目を盗んで家を抜け出し、大黒座の出し物を町中に宣伝して練り歩くチンドン行列に加わって歩いたときの思い出話は最高でした。図書館に本を借りて訪れていた方も、思わず足を止めて聴き入っていましたよ。

楽しいお話をもっと聴きたかったと、参加者の方々からはうれしい感想の声が多かった『浦河の昔話を聴こう会』でした。

「浦河地歴さいこう会」連絡先  
・松山和弘(2215862)  
・宮澤好(0800586604443)



## ウポポとムックリ講習

アイヌ伝統楽器ムックリの  
ワークショップ&ミニコンサート



- 日時: 1月26日(土) 18:30～
- 場所: 総合文化会館 ミニシアター
- 主催: Rehe Isam (レヘイサム)

1月26日、姉妹で結成されたアイヌ伝統歌のユニット・Kapiw & Apappo(カピウとアパッポ)のウポポとムックリの講習会に参加しました。

姉妹ならではの息の合った掛け合いが持ち味で、その歌声も評判のお二人とあって、ウポポ(アイヌの唄)、ムックリ(竹製の口琴)、トソコリ(樺太アイヌ由来の弦楽器)の演奏はどれもとっても素晴らしかったです。ミニコンサートの後は、参加者全員でムックリを練習して踊りも楽しみました。笑顔がたくさんの会場には、お二人の祖母である故・遠山サキさんの遺影が。なんだかとてもあたたかい講習会でした。



## 町の映画館 大黒座が楽しいよ～

2月15日、『小さな町の小さな映画館』の映画監督・森田恵子さんを迎えて最新作の『まわる映写機めぐる人生』の上映会がありました。この作品の道内初上映は、ぜひ大黒座で!と願っていた森田監督の本当に嬉しそうなお姿が印象的でした。札幌での上映会があるにも関わらず、わざわざ札幌から浦河に足を運んで、「大黒座サポーターズクラブ」に入会したいです!というお客様もいましたよ。大黒座さん、多くの方に愛されていますね。



# 『潰れてたまるか！ピンチをチャンスに変えた10社』

屋宮久光・景山恵子 著 CCCメディアハウス 出版



最近読んだ本の中より...



支店長さんはおもむろに融資課長を呼び出し言いました。「高安さんに一千万融資することにしたから、今すぐ書類を用意しなさい。」びっくりしたのは私のほうです。「会社の将来のために、今すぐ関係者から株式を買い戻してください。」とおっしゃるのです。担保の有無を確認する融資課長に支店長さんはこう言いました。「高安さんに担保なんてあるわけないだろう！私が彼を信頼して貸すんだ」おかげで株を買い戻し、後に借入金もきちんとお返しすることができました。(本文より)

## それぞれの社長さんの人生が書かれていて面白い

苦境から振り返り咲いた会社10社が紹介されています。老舗のメーカー、旅館、町工場、銀座のテーラーなど業種はさまざまですが、それぞれにきびしい経営状態から会社を作り上げてきた社長さんばかりです。わたしも経営者の端くれとして、勉強のためにビジネス書を読んできました。なかでも面白かった本を何度かこのコーナーで取り上げました。『日本が一番大切にしたい会社』のシリーズや星野リゾート社長の本、特に好きだった『魂の中小企業』などです。それらの本と同じく本書でもそれぞれの社長さんの人生が語られていて、面白いです。勉強になります。

冒頭でご紹介したのは、チタンの加工技術を持つ会社「昭和」の社長高安輝樹さんのエピソードです。今では10数億の売り上げがある会社ですが、輝樹さんが継いだときはずっと小さな会社で資金繰りも大変だったといえます。輝樹さんも(本人曰く)ダメ息子く

## 職場環境を整え死に物狂いで新製品の開発に取り組んだ

らいにしか見られていない、仕事でも任されるのは清掃や発送などの雑用ばかり。社員同士は仲が悪い。そんななか社長業を始めることになったのです。輝樹さんが社長になってまずしたことは、「清潔な女子専用トイレを作る」とでした。中小企業はこういう小さなことが行き届かないものです。貴重な人材が辞めないためにまずは職場環境を良くしようと考えたと言います。それでもせつかく入ってきた若者たちが辞めていってしまします。輝樹さんは退職者に思い切った理由を聞き

すると、原因は社内にある。古参の社員たちが「こんな会社、すぐに潰れるぞ」と若者たちに言っていたことがわかったのです。輝樹さんは決断をします。古参社員たちに退職してもらったのです。ここからチタンを利用した新製品開発に死に物狂いで取り組むこととなります。冒頭のエ

## あなたを信頼して貸すんだ！ふざけるな！

ピソードは、そんな輝樹さんの姿勢を評価した銀行の支店長が発した言葉でした。輝樹さんはもうひとつ、銀行とのエピソードを語っています。バブル崩壊後のひじょうに苦しかったときに、別の銀行が無担保で3億円融資してくれたのです。このときついうっかり、「いざとなったら死んで保険金で

払います」と言ってしまった。支店長は烈火のごとく怒り「あなたを信頼して貸すんだ。ふざけるな！」と一喝しました。このときは涙が出たと記しています。



どんな社長にも、このような経験があるものです。世の中は捨てたものじやない、という感謝の念が沸いてくる経験です。それが社長ネス書を読む面白さです。

## 寺さん、これからも見守って下さいね

寺さんがいなくなる・・・その日が近いかもしれない。昨年の春以降、体調を崩して食事も摂れず、会うたびに痩せていく姿を観ながらそんな思いと戦ってきました。

癌がわかった秋、余命宣告を受けた寺さんが、ひっそりと、でもしっかりと別れを告げて浦河を去ったのが10月23日のこと。会ったのはこの日が最後になったけど、「抗がん剤をやめたから調子いいんだ」と笑顔を見せてくれたので私の脳裏には寺さんの笑顔を焼き付けることができたよ。ありがとう。

独り身だったけど、「俺には全国に仲間がいっぱいいるから寂しくない」と言っていた寺さん。体力も落ちて残された時間の中で、最後に、一番大切にしていた仲間たちのセミナーに参加しましたね。その時の笑顔が思い描けるよ。最期は兄弟に寄り添ってもらって、故郷の留萌で自らの死を迎えました。残された命の時間を、どう生きるか。どう生きたいか。寺さん、私も幸せになるために生きてみたいと思います。これからも見守ってください。



みんな若かった。今から20年前、平成11年の写真のようです。そう、あの頃、寺さんは煙草を吸っていた。こんな風に毎日一緒にコーヒーを飲みながら、たくさんいろんな話をしてきました。どうしようもなくさみしいな。今は、たまらなく寂しいです。

小山祥子



## ガスグリルでおいしくクッキング



# 海鮮かた焼きそば

ありがとうございました。先月の入院手術を知ったお客様からたくさんのおたのしみ声を掛けていただいた社長ですが、大丈夫です！今月は久しぶりに社長が調理を担当ですよ～。大好きな固焼きの焼きそばに挑戦してみました。さて、その出来栄はどうだったのでしょうか？ フフフ^^



### ●材料 (2人前)

- ・いかの胴 … 1/2パイ分
- ・むきエビ … 10尾
- ・チンゲンサイ … 1株
- ・しいたけ … 2枚
- ・にんにくのみじん切り … 1片
- ・しょうがのみじん切り … 適量
- ・焼きそば用の麺 … 2玉

### 【煮汁】

- ・酒…大さじ3
- ・オイスターソース
- ・砂糖
- ・塩
- ・水
- ・塩・こしょう・サラダ油



### ●作り方 参照「レタスクラブニュース」海鮮かた焼きそばレシピ他

- 1、麺は炒める前に、袋の上から手でよくぐしておく。チンゲンサイは1枚ずつはがし、2～3cmの長さに切って、葉と軸に分ける。しいたけは軸を除き四つ切にする。いかは1cm幅の輪切りにし、えびと合わせて塩、こしょうを少々ふっておく。
- 2、フライパンに油大さじ4～5を強火で熱し、めんを広げていれ、揚げ焼きにする。途中で上下を返し、両面がきつね色になったら取り出して4～5つに割り、器に盛る。
- 3、フライパンをペーパータオルで拭いてきれいにし、大さじ1の油を入れて強火で熱し、にんにく、しょうがを加えてさっと炒める。むきエビ、いか、しいたけ、チンゲンサイの軸を加えて、油が回ったら煮汁の材料を加えて約3分煮る。チンゲンサイの葉を加えてさっと煮て、水溶き片栗粉を回し入れてとろみを付け、2の麺にかけて完成！



みんなで「いただきま〜す♪」

プロの板前さんだって分業して作るだろう？だから、いいんだよ。



ばあふるさんに何点？って聞いたら、「社長はただ焼きそばを焼いただけだから点数なんてつけられません！」って言ってたよ～。恭平くんも圭佑くんも高得点をつけようとしていたけど、レトルト食品の味がいいからだよ。ハハハ！今回は、なんだかインチキな調理担当だったんだ。



## 「ねえ、社長の焼きそばってどうだったの？」

参加できなかったマックスの問いかけに、「もう～、こんなに汚すな～！というほど油は飛ばすわ散らかすわで、大変だったんだから！」とばあふるさん。あらあら、そうだったんですね～。

出来上がりの写真がけっこういい感じだったので、「野菜もみんな社長が切ったの？」と聞きました。すると、「いいえ、載っているあんかけはレトルト食品です！だから、味はみんな美味しかった

よ」と。な～んだ。オレが作る！って言ってた社長だけど、自分が食べたかった“固焼きそば”が作りたくて麺を油で炒めただけだったとのこと。そして油を飛ばして台所を汚して、ばあふるさんに叱られたのかな？ハハハハ！！な～んだ、そういうことだったんですね。とっても納得～。(笑)

社長は出来具合に満足そうでしたよと教えてくれた圭佑くんは、「バリバリ麺で美味しかったです！」。一方、恭平くんの感想は「もうちょっとバリバリでもよさそうでした」とのことでした。



麺をフライパンで焼いているだけ！ただそれだけなのに、肩に力が入っていますね～社長。何回も練習してインスタントラーメンの次のレポートに加えて下さいね^^

寺澤さんは教えを垂れる人ではなく、すべて昔の自分の失敗に基づいて話す人でした。「正直が一番強くてラクなんだ」といつも言っていました。

## 社長のちよつと長いフィルム

### 寺澤さんの思い出

2ページでも報告しましたが、一昨年までマルセイで働いてくれていた寺澤繁さんが亡くなりました。寺澤さん＝寺澤さんとは20年以上の付き合いでした。迷ったり悩んだりしたときに、いつも相談に乗ってもらったのが寺澤さんでした。何度助けてもらったか分かりません。今回はその一つをご紹介します。

社長になったときから、須田コンサルタントと相談しながら経営をしてきたことは、何度ここに書いてきました。さらに、黒田さんというわたくしと須田さんには師匠に当たる方からも、たくさんのアドバイスを受けて社長業を始めました。黒田先生から毎月指導を受けて、2年かけて会社と自分の指針となる「理念」をつくりました。苦しかった分、理念をまとめたときはとても達成感がありました。よし、これから頑張るぞ！という気持ちでした。ところがこの2人がとんでもないことを言い出したのです。「君の間、お世話になつている人、会社の関係各位を呼んで、理念発表会をやるので準備をしないさい。」ということです。



なんてことを言い出すんだ！というのがわたしの本心でした。わたしの作った理念は、「理念」というだけあってそれは立派なものです。ですが、わたし自身がその理念に見合うだけ立派でないことは自分でよく分かっています。わたしの知り合いになると、わたし以上によく知っています。そういう、ありのままのわ

たしを知っている人を呼んで発表会をやれというのです。そんな恥ずかしいことできるか！とわたしは本当に悩みました。どうやったらこれから逃げられるかを真剣に考えましたが、よい方策は見つからず、わたしは寺澤さんに相談しました。

この2人の提案への疑問と、少々の不満と怒りをわたしは寺澤さんにぶつけました。発表会など必要ないというわたしの考えは「理屈に合っている」と思っていますから、寺澤さんは同意してくれると期待していました。しかし、寺澤さんはこう言いました。「やれ。」どうして？と聞くと寺澤さんはこう言いました。「俺は経営のことは知らん。だが社長はその2人を信じて2年間勉強してきたんだろ？ だつたら、信じて発表会をやれ。」

わたしが自分を褒（ほ）めるとしたら、寺澤さんを含めこの3人の意見を聞き入れて、人を集めて理念発表会を開いたことです。開催直前まで死ぬほど恥ずかしく、苦しく、悩みましたが、終わってみれば出席してくれた仲間がみんな、おめでとうと祝ってくれました。俺も会社の理念つくりたいなあ、と言う人もいました。もちろん寺澤さんも出席してくれました。

発表会翌日に味わった心からの開放感、今でも忘れられません。後日、寺澤さんはこう話してくれました。「俺は経営のことは分からんが、社長が発表会から『逃げたい』と思つていることは分かつたんだ。だから、やれと言つた。逃げたら、心はずっと不自由だ。でも痛い思いをしても逃げなかつたら、心はそのあと自由になるんだ。若いとき逃げてばかりいた俺は、よく知つてる。社長、いま気持ち晴々してるだろ？ おめでとう。」

亡くなつても、寺澤さんの言葉はずっと生きています。

## さのばわふる日記



寺澤さん、ゆつくり休んでいますか？ 楽になれたでしょうか？ いまだに留萌で元気であるようなそんな信じられない気持ちです。

去年の11月に寺澤さんからの依頼を受けて浦河の住宅を片付けていたら、流しの壁に色あせた紙が貼つてありました。

寺澤さんは私の母が作ったお赤飯がお気に入りでした。自分でも料理をする人だったので、自分で作つてもどうしても母のようにならないからと「母さんに赤飯の作り方を聞いてくれ」と言われ、私が母から聞いて裏紙にメモしたものでした。母もきちんとした分量などなく、だいたいの目分量と勘で作っていましたからレシピを教えてくると聞くと、笑いながら「いや、分量つて言われてもね」と工程とだいたい分量を出して教えてくれました。

それを寺澤さんに渡した翌日、寺澤さん手作りのお赤飯が届きました。

「ちよつと赤くなつたけど、どうだ？」  
「まだまだ母さんの赤飯にはならないけどな」といつもの照れ笑いをしてご馳走してくれました。

その母のお赤飯も寺澤さんのお赤飯ももう食べられません。実は、私も母から聞いてメモしていた紙をずっと捜して、なくしては困ると大事にしまったのまでは覚えていたのですがそれがどこか思い出せず、ずっと捜していた時に思いがけず寺澤さんの家から出てきたこのレシピ。

寺澤さんから「大切にしろよ」と言われた気がします。しかし、この私！ まだ一度も作っていません。寺澤さん、ごめんね。そのうちに挑戦してみよう。

寺澤さんが毎年作ってくれた、マサカリカボチャの塩蒸しかぼ

ちやも食べられません。美味しかったな。

寺澤さん、ありがとうございます。ありがとうございました。寺澤さんの思い出は私達の心から消えませぬよ。



発行 株式会社 マルセイ  
灯油・プロパンガス販売・機器修理  
廃棄物収集運搬・暮らしのサポート事業  
冬季期間（10月～3月） 定休日：日曜・祝祭日 営業時間 8:30～6:00 土曜3:00



編集 おはなし家（マックス） 発行部数 3,500部  
【Emailアドレス】 marusei.gs@gmail.com  
【マルセイブログ】 「マルセイブログ」で検索してください  
〒057-0005 浦河町東町うしお1丁目9-3  
TEL 0146-22-5123